

小松ゆるスポーツ協議会

スポーツを通じたバリアフリーの地域づくり

団体の紹介

小松ゆるスポーツ協議会は、地域発信型スポーツの開発と実施により、高齢者・障害者・幼児・運動が苦手な人など「誰もが、気軽に、それぞれのスタイルでスポーツを楽しむ」ことができる機会と、新たなコミュニケーションの形を提案しています。平成29年から小松市内で活動を始め、令和2年10月には、NPO 法人石川バリアフリーツアースセンターを中心に、関係団体や大学、市民など、約15人をメンバーに、「小松ゆるスポーツ協議会」を発足しました。スポーツをバリアフリーの観点から創造することで、人と人がつながる健やかな生活とみんなにやさしい共生社会の推進を目的に活動しています。

事務局所在地 小松市小寺町乙80番地1

活動内容

ゆるスポーツ事業

小松市の福祉フェスティバルやスポーツフェスティバルでの、ゆるスポーツブースの出展、市内のいきいきサロンや老人会への用具貸し出しや体験会の実施、自宅や福祉施設などから参加できるオンラインゆるスポーツパークの開催など、ゆるスポーツの普及に取り組んでいます。平成30年からは、小松うどんや歌舞伎の要素を取り入れたご当地版ゆるスポーツも開発しています。



ゆるスポーツとは

年齢や性別、運動神経や運動経験、障害の有無にかかわらず誰もが「ゆるっと」楽しめるスポーツのことです。眉毛を上下させた回数を競う「まゆげリフティング」、障害物レーンを車いすでタイムトライアルする「車いすアタックの関」、バラバラになっている靴下をセットにしてかごに入れる「くつしたまいれ」などがあります。

バリアフリー事業

障害者や高齢者が、行きたいところに行けるように、「旅のバリアフリー」を目指して活動し、市内公共施設や飲食店等のバリアフリー調査やバリアフリーマップの作成に取り組んでいます。小松市は、パラリンピアンとの交流、ユニバーサルデザインのまちづくり、心のバリアフリーに取り組む自治体として、令和元年10月に「共生社会ホストタウン」に認定されています。



広域地図



詳細

